

メタモルフォーゼ・タイガー——立石大河亞と迷宮を歩く

1999年11月19日金——12月23日祝木

[前期] 11月19日金——12月8日水 / [後期] 12月10日金——12月23日祝木

入館料=一般500(400)円/高・大生300(200)円/小・中生100(50)円

()内は20名以上の団体料金

休館日=木曜日(ただし12月23日は開館)

開館時間=10:00A.M. — 6:30P.M.

(金曜日は8:00P.M.まで、入館は閉館30分前まで)

主催・会場=(財)品川文化振興事業団 ○美術館

●関連企画

○シンポジウム

12月11日 1:30 — 4:30P.M.
(大崎ニューシティ内・日精ホール)

・パネラー

四方田犬彦(明治学院大学教授・評論家)

中原佑介(美術評論家)

藤原正樹(東京芸術大学教授・メディアアーティスト)

天野一夫(司会・○美術館芸員)

○ワークショップ(*申し込み、およびお問い合わせは美術館まで。)

定員、各15名

1. 11月27日 2:00 — 4:00P.M.

「タイガーになろう!」

——自分のまわりの気になるもの、好きなものをもとに、

「この時代」をテーマにした作品を作ろう

講師: 大岩オスクール幸男(アーティスト) 参加費: 無料

2. 12月4日 2:00 — 4:00P.M.

「どんぶりの小宇宙」

——どんぶりの内に自分の街を粘土で造って

反転した石膏の街を手に入れよう

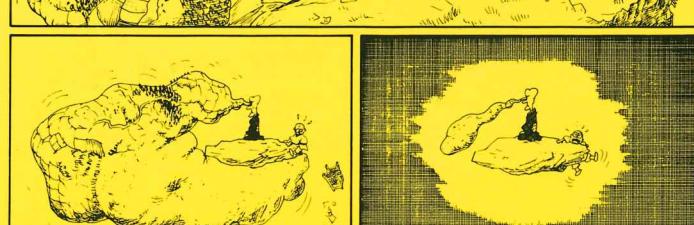
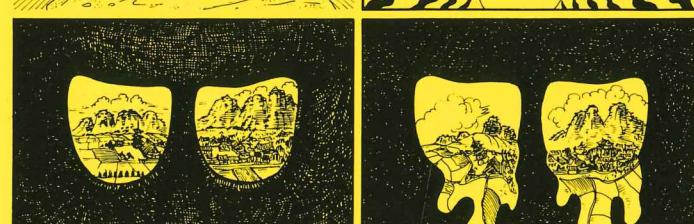
講師: 天野裕夫(彫刻家) 参加費: 300円

○学芸員によるギャラリートーク

11月20日 11月28日

12月5日 12月12日 12月18日

*それぞれ 2:00 — 3:00P.M.



財品川文化振興事業団

○美術館

品川区大崎1-6-2 大崎ニューシティ2号館2階 〒141-0032
TEL. 03-3495-4040 FAX. 03-3495-4192

[交通]

JR山手線大崎駅(東口)下車徒歩1分
東急バス(大井町→渋谷駅)大崎駅下車徒歩1分
[駐車場]

美術館専用駐車場はございません。

お車でご来館の場合、「大崎ニューシティ」
地下2階の駐車場(有料)をご利用下さい。

TIGER
TATEISHI

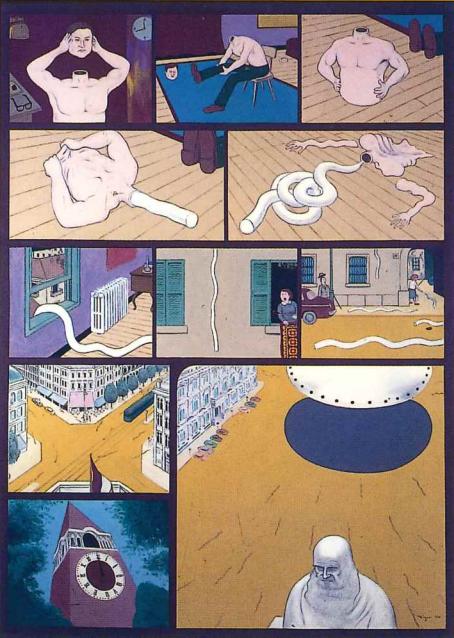
《観光術》 1982



年百治明

第七回百人一首元日
年百治和田
年七回六石九千元日

《明治百年》 1965 青森県蔵



《IT'S JUST THE TIME》 1970

メタモルフォーゼ・タイガー——立石大河亞と迷宮を歩く

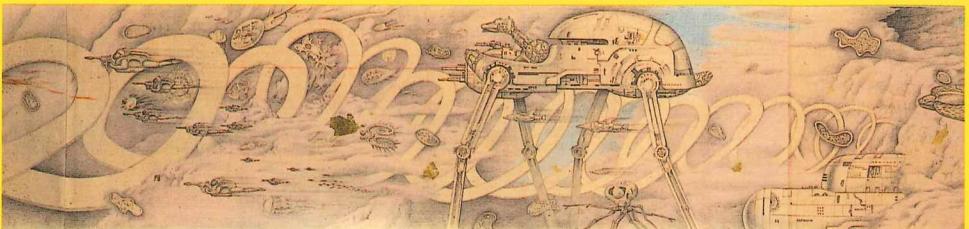
立石大河亞は、その時代に応じて立石紘一、タイガー立石と改名したように、様々な素材とジャンルを自在に渡り歩き、アニメーション等の映像的な手法と視覚的な操作をともなった、日本では稀に見る柔軟にして強度を持った独自の作品を制作した作家と言えましょう。

立石は1941年に筑豊炭鉱の地・田川に生まれ、上京後、既に20代はじめには美術界で頭角を現し、翌年には中村宏とともに「観光芸術研究所」を設立し反芸術的な活動を展開しました。さらに60年代からは独特的なコミックをも手がけながら、1969年から1982年にかけては、ミラノに在住し、オリベッティ社のデザイナーとしても活躍しました。そして帰国後は絵本、絵巻物、焼物も発表してゆきます。

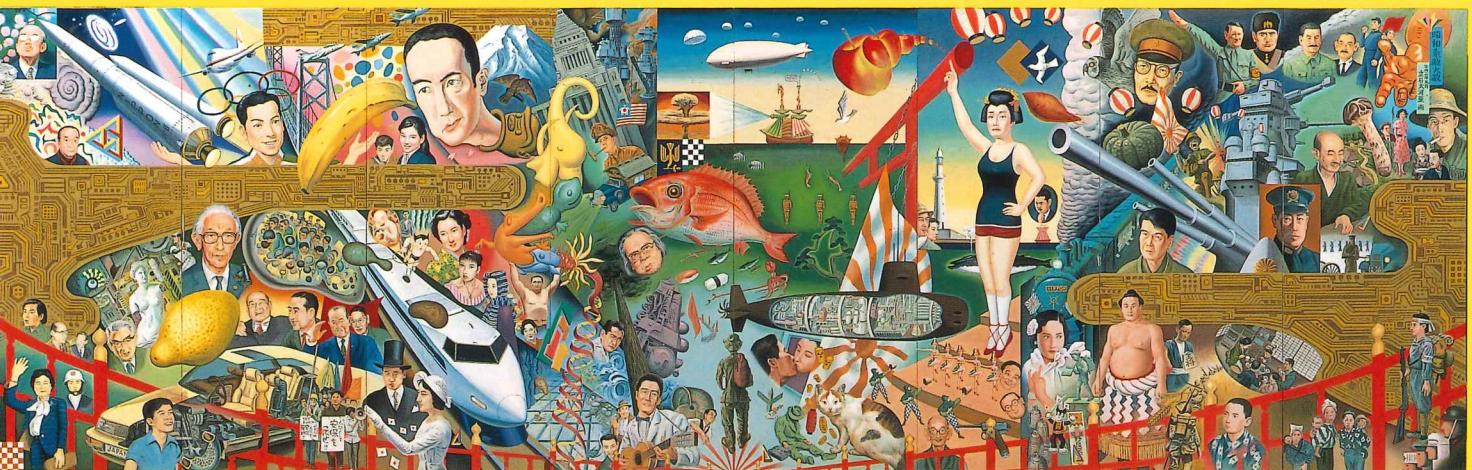
立石の絵画には、富士山や漫画のキャラクター、さらには文化大革命直後の毛沢東から芸能人まで、そこにはだれもが知る様々な大衆的なイメージが引用されています。そのような我々の共有するイメージを、広告のかたちを取り、メタモルフォーゼ(形態変化)するアニメーション的な手法、あるいはだまし絵的な見えなどによって、立石の作品は迷宮的な空間や視覚に満たされています。さらに漫画の中で培われたイメージやコマ割り、さらにはイラスト的描写など他の様々な分野のそれぞれのメディア独自の文法や様式をタブロー制作のなかにも持込み、他にはないユニークなものとなっています。

このような多次元的で自在な制作や特異なイメージ操作は、映像関係をはじめ、現代の第一線のアーティストにも強いインパクトを与えています。むしろ立石大河亞の存在はこの現代においてこそ、いわば来るべき芸術として我々の前に新鮮にも現れてくるのではないかでしょうか。

本展は油彩、鉛筆画による掛け軸、絵巻物、コミック、イラスト、陶芸、そして絵本等未発表作品も含め約90点による、立石大河亞の東京で初めて開催される待望の決定版的な展覧会です。これは単なるひとりの作家の回顧にとどまらず、会期中のシンポジウム・ワークショップも含め、多角的にアプローチすることによって、あらためてデジタル的な今日のわれわれにとって一層刺激的な、自在な視覚を持つ作家の世界を回遊しようとするものです。



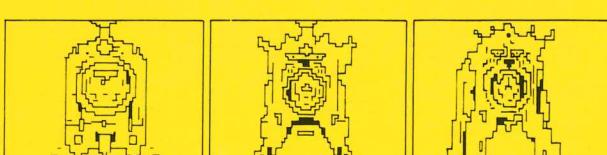
《遺伝子戦争図》 1987



《昭和素敵大敵》 1990 田川市美術館蔵



《VINCENT》 1996 中京大学蔵



財團法人
O美術館

品川区大崎1-6-2 大崎ニューシティ2号館2階 〒141-0032

TEL. 03-3495-4040 FAX. 03-3495-4192

[交通]

JR山手線大崎駅(東口)下車徒歩1分

東急バス(大井町・渋谷駅)大崎駅下車徒歩1分

[駐車場]

美術館専用駐車場はございません。

お車でご来館の場合、「大崎ニューシティ」

地下2階の駐車場(有料)をご利用下さい。

